

仙台市消費生活基本計画・消費者教育推進計画 （令和３年度～令和７年度）	仙台市消費生活基本計画・消費者教育推進計画 （令和８年度～令和１２年度）
第１章 計画の策定について １ 策定の趣旨 ２ 計画の位置づけ ３ 計画の期間	第１章 計画の基本的な考え方 １ 策定の趣旨 ２ 計画の位置づけ ３ 計画の期間 ４ 策定の経過
第２章 消費生活をめぐる社会の現状と課題 １ 消費者を取り巻く状況 ○ 高齢化の進行 ○ 成年年齢の引き下げ ○ 在留外国人の増加 ○ デジタル化の進展・電子商取引の拡大 ○ 自然災害の激甚化、多発化、新型コロナウイルス感染症の拡大 ○ 持続可能な社会の実現への関心の高まり ２ 消費者行動・意識、消費者教育の状況（市民・事業所・学校アンケート調査結果） ３ 取り組むべき課題 ○ 課題１ 消費生活の安全・安心の確保 ○ 課題２ 成年年齢引き下げに対応した消費者教育の充実 ○ 課題３ 消費者市民社会の形成に寄与する取り組みの推進 ○ 課題４ 消費者被害の防止及び救済 ○ 課題５ 高齢者の見守り	第２章 消費生活をめぐる社会の現状と課題 １ 消費者を取り巻く状況 ○ 高齢化の進行 ○ 若者の消費者被害増加への懸念 ○ 外国人住民の増加 ○ インターネット・SNSの利用増加と電子商取引の拡大 ○ 自然災害の大規模化、激甚化 ２ 前計画（令和３年度～令和７年度）の振り返り ３ 消費生活に関する意識調査結果（消費生活意識調査・こども若者向けアンケート） ４ 取り組むべき課題 ○ 課題１ 消費生活の安全・安心の確保 ○ 課題２ ライフステージや消費者の多様な特性に応じた消費者教育・啓発の充実 ○ 課題３ 持続可能な社会づくりのためのライフスタイルの推進 ○ 課題４ 消費者被害の防止及び救済 ○ 課題５ 見守り等の配慮を要する消費者（高齢者等）への対応
第３章 目指すべき姿と施策の柱 １ 目指すべき姿 多様な主体との連携による「消費者が安全に安心して暮らせる社会」及び「消費者市民社会」の実現 ２ 施策の柱 Ⅰ 消費生活の安全・安心の確保（課題１関連） Ⅱ 消費者教育・啓発の推進（課題２、３関連） Ⅲ 消費者被害の防止及び救済（課題４関連） Ⅳ 高齢者等特に配慮を要する消費者への対応（課題５関連） Ⅴ 多様な主体との連携の推進	第３章 目指すべき姿と施策の柱 １ 目指すべき姿 多様な主体との連携による「消費者が安全に安心して暮らせる社会」及び「消費者市民社会」の実現 ２ 施策の柱 共通 多様な主体との連携の推進 Ⅰ 消費生活の安全・安心の確保 Ⅱ ライフステージや消費者の多様な特性に応じた消費者教育・啓発の充実 Ⅲ 持続可能な社会づくりのためのライフスタイルの推進 Ⅳ 消費者被害の防止及び救済 Ⅴ 見守り等の配慮を要する消費者（高齢者等）への対応
第４章 計画推進のための施策の展開及び進行管理 １ 施策の体系 ２ 施策の展開 ３ 計画の推進体制及び進行管理	第４章 計画推進のための施策の展開及び進行管理 １ 施策の体系 ２ 施策の展開 ３ 施策一覧 ４ 計画の進行管理及び推進体制